

## 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 2年 12月 8日

公表: 令和 3年 1月 26日

事業所名 とまとのプール

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		部屋を分けることで少人数のスペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	5		配置数が足りていない時はヘルプ要請をしている	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	段差がある所は、フロアマットを引いて滑らないようにしている。	段差などバリアフリー化が出来ていない箇所もある為、スロープや手すりを用意するなど検討していく。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	5		日々のミーティングや申し送りをを行い、情報を共有したり、話し合いはできている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	1	評価表を基に業務改善に努めている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	ホームページで公開している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5		社労士、トレーナーに入って頂き、アドバイスや評価を頂いている。	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		定期的に研修を行い、職員のスキル向上に努めている。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5		モニタリングの時期には訪問や電話で保護者様と話を聞き、計画を考えている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5		適切なサービスを提供するために、アセスメントシートを作成している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	2		チームで行うことは少ないが、会議などで活動プログラムについて話し合いを設け、情報共有に努める。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	1	行事や季節によって活動を考えている。	同じプログラムが続いてしまうこともあるので、新しい活動を考えていく必要がある。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	4	1	行事イベントや公園等への外出など状況に応じて支援している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5		部屋別活動を行うことで、子供の状況も配慮しながら、個別活動と集団活動に分けて行っている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		毎日ミーティングを開き、部屋割り活動の担当と支援内容を話し合っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		申し送り、ミーティングを就業前後で、毎日行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	1	活動のようすなど、日々の記録を記載している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5		施設会議の中で職員全員で情報共有をしながらモニタリングを行っている。必要に応じて支援計画の見直しも行っている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	3	2		ガイドラインの総則を確認し、支援を考えていく。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		管理責任者が参加している。必要に応じて会議の前に意見を申し合ひ、情報共有している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5		保護者様、または学校から送迎時間を伺い、確認している。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		5	研修などで、知識を学んでいる。	医療ケアが必要とする子どもを受け入れていない。;
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5		相談支援員さんを通して、今までの状況を教えて頂いたり、情報共有している。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	5		相談支援員さんを通して、それまでの支援内容を情報を提供している。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	研修委員会の基、専用機関からの研修を受けている。	職員全員が参加できていないので、今後は参加できるように調整を行う。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	2	3		現在はコロナの感染防止のため交流をしていないが、障害のない子供たちとも交流できる機会を設け、参加できるようにしていきたい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	4	1	社会協議会が開催している「子供連絡会」に参加している。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合ひ、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		送迎時などに日々のデイの様子を伝えている。必要に応じて電話で課題についてなど情報共有をしながら共通理解を深めている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	4		保護者に対して支援するまではできていない。今後は支援できるように研修を行い対応できるようにしたい。	
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		契約の際に運営規定、支援内容、利用者負担等、丁寧に説明している。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	1		送迎が入れないなどで、保護者様との関わりが少ないため適切な助言ができていない。保護者会などで関わりを深め、出来ることを考え支援していきたい。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5		毎年保護者会を開催して、保護者同士の連携を深めている。	
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5		苦情受付窓口を設置し、保護者に書面にて周知している。苦情があった場合には管理部に報告し、適切な指示を受けたり対応を行っている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		年に4回会報を発行して、日々の活動内容やイベント内容などを保護者に発信している。	
	35	個人情報に十分注意している	4	1		廃棄書面等はシュレッダーにかけたり、保管する場合は鍵付きの保管庫で管理する。
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		適したサービスが提供できるように、研修や講習を開き、職員のスキルアップに繋げている。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		5		現在はコロナの感染防止のため行うことができないが、地区の行事などに参加できるようにしていきたい。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	5		緊急対策マニュアル、感染症対策マニュアルなど作成して、職員や保護者に書面を配布している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	2	災害対策マニュアルに沿って、年2回の実施をしている。	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		虐待研修委員会の基、研修や講習を受け、虐待防止に努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	5		やむを得ず身体拘束を行う場合は、個別支援計画書に記載して、保護者様の同意を得ている	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	1		食物アレルギーについて、保護者から書面にて有無の確認をしているが、意思の指示書に基づく対応ができていないかはわからない。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	1	ヒヤリハットがあった場合には報告、事例報告書を作成して、事業所内で共有している。	